



内容目次

- ・頸椎症性神経根症
-肩から上肢の痛みとしびれ-



発行元 地方独立行政法人さんむ医療センター
広報編集委員会
<http://www.sanmu-mc.jp/>

頸椎症性神経根症 -肩から上肢の痛みとしびれ-

肩周辺から手にかけて電気が走るような痛みやしびれでお困りではありませんか？

その症状は頸椎が原因の可能性があります。頸椎の神経根(背髄の枝の神経)は上肢や肩甲骨周辺を支配しています。これが年齢による頸椎の変形や椎間板ヘルニアによって圧迫を受けると、時として日常生活に支障を出すほどの強い痛みやしびれを出します。

首を後ろに反ると症状が出るのが典型的です。肩や肘、手関節付近での神経障害でも上肢の痛みやしびれが出ることもあるので、他の原因がないかよく診察することが大切です。

多くの場合はMRIを撮影し、診断します。

当科ではこの病気が疑われる方に対して特殊なMRIの撮り方を行っており、通常の撮影方法と比較してより鋭敏に神経の圧迫が検出可能です。

治療は？

カラー固定による頸椎の安静、牽引などの理学療法、痛み止め内服が原則で、多くの方はこれにより改善します。しかし、なかには症状が長期間続く方がいらっしゃいます。

<次ページへ続く>

保存療法で改善しない場合は？

当科では頸椎の**神経根ブロック注射**を行なっています。超音波を用いることで、安全にブロックを行えるようにしています。

ブロックでも症状が治まらない場合は手術をおすすめする場合があります。

当科では**頸椎前方除圧固定術**を行うことが多いです。首のシワに沿って切開を加えるので傷が目立ちにくい、筋肉を殆ど切らずに手術ができるので術後の首の痛みが少ないなどの利点があります。手術時間は2時間程度で、順調であれば術後1週間程度で退院可能です。



頸椎前方除圧固定術 術後 X線写真

お困りの方は是非 整形外科でご相談ください。

整形外科 大田光俊